

オゾンショックトリートメント法(OST法)の紹介

オゾンが臭気物質と衝突した時、臭気物質が酸化される化学変化を用いて脱臭する方法を、
【オゾン酸化分解法】といいます。

最近では、【オゾン酸化分解法】を謳った、業務用オゾン脱臭機が数多く販売されています。

しかし、実際の脱臭現場の広さや、臭い物質の種類に応じた出力を出せないために、脱臭効果が得られないというトラブルも増えています。

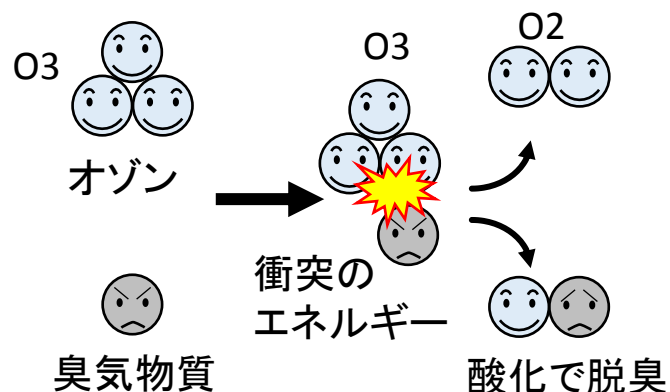
日本除菌脱臭サービス協会では、こうしたトラブルを避け、確実な脱臭効果を得るために、【オゾン酸化分解法】について、必要条件を数字で明確に定義しました。

- オゾン発生量 7500mg/h 以上
- ファン風量 260m³/h 以上

これを【オゾンショックトリートメント法】と名付け、当協会員に対し、適切な指導とトレーニングを行っています。

【オゾンショックトリートメント法】を採用することで、お客様の満足や、業界各社の安心、健全なサービス提供が可能になります。

■オゾン酸化分解法の仕組み



■オゾン脱臭のトラブル事例

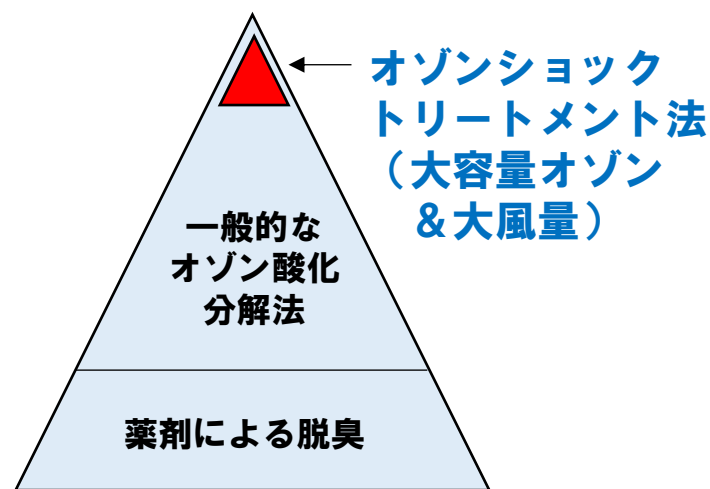


- プロ仕様っていうから投資したのに効果がなかったよ
- 1週間もかかったよ
- オゾンとはいえ、臭いが取り切れないから受けたくないなあ

- プロに任せても駄目じゃないか
- 他のオーナーはオゾンで脱臭出来たっていうのに
- いったい何処の業者に頼めばいいの？



■脱臭方式の種別



※ オゾンショックトリートメント法を提供できるのは、日本除菌脱臭サービス協会に属し、正規のトレーニングを受けた事業者に限られます

【オゾン酸化分解法】の効果には、

- におい物質の特性
 - におい物質の量
 - 作業空間の大きさ
- 等、現場の状況が大きく影響します。

例えば、オゾンによる分解反応をしにくい物質をオゾンで分解するためには、強い衝撃エネルギーを与える必要があります。そのため、オゾンを大量に発生させることと、大風量を備えることが必要になります。

日本除菌脱臭サービス協会では、確実な脱臭効果を得るためのガイドラインとして、経験値から、以下の数値を設定しています。

- オゾン発生量 7500mg/h 以上
- ファン風量 260m³/h 以上

【オゾンショックトリートメント法】は、オゾン酸化分解法の中でも、最高技術の脱臭法です。

【オゾンショックトリートメント法】の基準を満たす機器は、現在国内では、エコゾンの【ActivO-J】と【Panther-J】だけです。

→エコゾンの商品紹介ページ

	広い空間	狭い空間
オゾン分解しにくい物質 ・ 香水 ・ アロマ ・ 小便臭 ・ 香辛料	オゾンショックトリートメント法のみ可能	省スペック型のオゾン脱臭機でも脱臭可能
オゾン分解しやすい物質 ・ 汗・体臭 ・ 嘔吐・大便臭 ・ 煙草臭		

強いエネルギーと衝撃が必要

大容量オゾンと大風量！衝突エネルギーで脱臭！

